

平成29年度介護・福祉サービス評価調査者養成研修カリキュラム（介護・福祉共通）

【1日目】10月10日（火）

会場：和牛登録会館2階

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	9:30～10:00	受付			
	10:00～10:10	あいさつ・オリエンテーション	介・福		
A	10:10～11:10	第三者評価の意義	介・福	<ul style="list-style-type: none"> ○評価受診の必要性 ○第三者評価のねらいと効果 ○行政監査との違い ○京都における第三者評価 	京都介護・福祉サ ービス第三者等支 援機構 副会長 榎田 匠
B	11:10～12:10	第三者評価を取巻く施策の動向	介・福	<ul style="list-style-type: none"> ○昨今の第三者評価を取巻く施 策など 	京都府
	12:10～13:10	昼食・休憩	—	—	—
C	13:10～14:40	第三者評価の流れと活かし方 (利用者調査の意義について)	介・福	<ul style="list-style-type: none"> ○支援機構の役割 ○評価実施手順 ○公表の方法 ○評価公表情報の活用 ○訪問調査と評価審査委員会の 役割 ○評価審査委員会の開催方法 ○アドバイスレポートの役割・ 作成方法 ○事業所見学の観点 ○書類等の確認方法 ○訪問調査時の利用者との関わ り ○アンケートの意義（活用方法） 	京都介護・福祉サ ービス第三者等支 援機構 幹事 膝 憲之
	14:40～14:50	休憩	—	—	—
D	14:50～16:20	評価調査者の役割と倫理 受診事業所に対する対応	介・福	<ul style="list-style-type: none"> ○評価調査者の視点及び役割 ○評価調査者に求められる倫理 ※具体的事例を交えて ○事業所が求める評価調査者像 	同上

※A、B、C、Dについては、すでに京都介護・福祉サービス第三者評価支援機構で介護・福祉・社会的養護部門の
いずれかの評価調査者として登録されている者は受講免除。

(介護分野) 平成29年度介護サービス評価調査者養成研修カリキュラム

【2日目】10月26日(木)

会場：和牛登録会館2階

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	9:15~9:30	受付	—	—	—
E	9:30~12:30	第三者評価項目基準の解釈	介	○介護サービス第三者評価基準の各項目について、その考え方や基準策定の意図等について ○実際の第三者評価における判断のポイントについて	武田病院グループ本部 福祉介護事業部門 医療法人担当 部長 小林 啓治
	12:30~13:30	昼食・休憩	—	—	—
F	13:30~16:30	訪問調査の着眼点	介	○自己評価票の読み込み ○訪問調査における第三者評価基準の評価判定方法、着眼点についてグループにより課題演習、事例検討を行う。	同上
G	16:30~16:45	訪問調査にむけて	介	○3日目の同行訪問に向けてのグループ調整	事務局

※FとGについては、福祉分野ですでに評価調査者として実績のある者は受講免除。

【3日目】

会場：各事業所

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	9:45	現地集合	介	—	—
H	10:00~16:00	実際に施設(事業所)を訪問、調査を行うことによって具体的な第三者評価の方法・技術を習得する。	介	○「協力施設(事業所)」を訪問、実際に調査を行うことにより、インタビュー技術等について実習を行うとともに、訪問調査時の留意事項を学ぶ。	同行訪問者 実習協力事業所

※Hについては、福祉分野ですでに評価調査者として実績のある者は受講免除。

【4日目】12月25日(月)

会場：和牛登録会館2階

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	9:20~9:30	オリエンテーション	介	—	—
I	9:30~16:40	○3日目の訪問の内容を受けて、第三者評価結果のとりまとめについて具体的な手法を習得する。 ○まとめ	介	○訪問調査の結果に基づいて評価調査者間で合議を行い、最終的な第三者評価結果をとりまとめるとともに、実習に基づきレポートをまとめる。 ○評価審査委員会の運営について	京都介護・福祉サービス第三者等支援機構 幹事 奥本 喜裕

※Iについては、福祉分野ですでに評価調査者として実績のある者は受講免除(Hを受講しないとIは受講できません)。

(福祉分野) 平成29年度福祉サービス評価調査者養成研修カリキュラム

【2日目】11月1日(水)

会場：ハートピア京都4階 第5会議室

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	9:15~9:30	受付	—	—	—
J	9:30~12:30	第三者評価項目基準の解釈 保育所版	福	○福祉サービス第三者評価基準(保育所版)の各項目について、その考え方や基準策定の意図等について ○実際の第三者評価における判断のポイントについて	京都介護・福祉サービス第三者等支援機構 理事 杉本 一久
	12:30~13:30	昼食・休憩	—	—	—
K	13:30~16:30	訪問調査の着眼点	福	○自己評価票の読み込み ○訪問調査における第三者評価基準の評価判定方法、着眼点についてグループにより課題演習、事例検討を行う。	同上
L	16:30~16:45	訪問調査にむけて	福	○3日目の同行訪問に向けてのグループ調整	事務局

※KとLについては、すでに評価調査者として実績のある者は受講免除。

【3日目】

会場：各事業所

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	8:45	現地集合	—	—	—
M	9:00~17:00	実際に施設(事業所)を訪問、調査を行うことによって具体的な第三者評価の方法・技術を習得する。	育所 実習先はすべて保	○「協力施設(事業所)」を訪問、実際に調査を行うことにより、インタビュー技術等について実習を行うとともに、訪問調査時の留意事項を学ぶ。	同行訪問者 実習協力事業所

※今年度の実習は保育所で行うこととする(支援機構として実習先は保育所のみ準備します)。

※Mについては、すでに評価調査者として実績のある者は受講免除。

【4日目】12月19日(火)

会場：ハートピア京都4階 第5会議室

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	9:20~9:30	オリエンテーション	福	—	—
N	9:30~16:40	○3日目の訪問の内容を受けて、第三者評価結果のとりまとめについて具体的な手法を習得する。 ○まとめ	福	○訪問調査の結果に基づいて評価調査者間で合議を行い、最終的な第三者評価結果をとりまとめるとともに、実習に基づきレポートをまとめる。 ○評価審査委員会の運営について	京都介護・福祉サービス第三者等支援機構 理事 杉本 一久

※Nについては、すでに評価調査者として実績のある者は受講免除(Mを受講しないとNは受講できません)。

平成29年度福祉サービス評価調査者養成研修カリキュラム
(障害分野／養護・軽費老人ホーム)

【障害分野】 11月10日(金)

会場：こどもみらい館4階 第2研修室

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	9:30～10:00	受付	—	—	—
0	10:00～12:00	第三者評価項目基準の解釈 障害事業所版	福	○福祉サービス第三者評価基準(障害事業所版)の各項目について、その考え方や基準策定の意図等について ○実際の第三者評価における判断のポイントについて	華頂短期大学 教授 武田 康晴

※障害分野については、今年度の養成研修を受講予定、もしくは既にいずれかの分野でサービヤー登録を済ませている者であって、障害分野の評価調査者になろうとする者が受講できます。

【共通評価基準(養護・軽費老人ホーム)】

11月10日(金)

会場：こどもみらい館4階 第2研修室

No.	時間	研修項目	対象	内容	講師 敬称略
	12:30～13:00	受付	—	—	—
P	13:00～15:00	第三者評価項目基準の解釈 共通評価基準	福	○福祉サービス第三者評価基準(共通評価基準)の各項目について、その考え方や基準策定の意図等について ○実際の第三者評価における判断のポイントについて	京都介護・福祉サービス第三者等支援機構 幹事 藤 憲之

※養護・軽費老人ホームは、福祉分野の調査者として既に登録されている方は「共通評価基準」を受講しなくても調査に行くことができます。

共通評価基準(養護・軽費老人ホーム)は、介護分野の調査者で養護・軽費老人ホームのみ取得されたい方、もしくは既に福祉分野の調査者であっても共通評価基準を改めて学びたい方が対象になります。